



取扱説明書／保証書(裏面)

このたびは、ユピテルの特定小電力トランシーバーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

また本機は電波法第四条「技術基準適合証明を受けた無線局」および電波法施行規則第六条「特定小電力無線局」に該当するトランシーバーです。

⚠ 注意

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

■はじめに	
安全上のご注意	3
使用上のご注意	4
・取り扱いについて	4
・使用上の制限	4
・交信について	4
オプション品(別売)の取り扱いについて	5
・バッテリーパック：J-BPC400について	5
・充電器：J-A5001について	5
各部の名称とはたらき	6
・本体	6
・ディスプレイ	7
・ベルトクリップの取り付けかた	7
電源について	8
・乾電池で使う	8
オプション品(別売)を使う	9
・別売のバッテリーパック：J-BPC400で使う	9
・別売のバッテリーパック：J-BPC400を 取り外す	9
・別売の充電器：J-A5001で充電する	10
■基本的な操作	
交信の準備	11
・1 電源を入れる	11
・2 音量を調節する	11
・3 チャンネルを選ぶ (交信する相手と同じチャンネルにする)	11
■交信のしかた	
通常の交信	12
・交信の準備をする	12
・送信するには	12
・受信するには	12
チームモードを使った交信	13
・交信の準備をする	13
・送信するには	14
・受信するには	14
オートコールモードを使った交信	15
・交信の準備をする	15
・交信するには	15

■便利な機能	
PTT ホールド機能について	16
ロングセーブモードについて	16
送信禁止機能について	16
キーロック機能について	16
確認音について	17
スキャン機能について	17
呼出音について	17
ディスプレイの照明について(自動点灯)	17
APC(オートパワーオフ)機能について	18
交信距離について	18
送信終了音について	18
リセット機能について	18
■その他	
アフターサービスについて	19
アフターサービス等についてご不明の点は	19
故障かな?と思ったら	20
仕様	20
オプション品(別売)について	21

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。
また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

絵表示について

- △記号は注意を促す内容であることを告げるものです。
- ⓧ記号は禁止の行為であることを告げるものです。
- 記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

警告 警告を無視した取り扱いをすると、死亡したり重傷を負う可能性があります。

- 穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない
中に入った場合は、すぐに使用を中止してください。そのまま使用すると火災や故障の原因となります。
- 万一、キャビネットを破損した場合は、すぐに使用を中止する
そのまま使用すると火災や故障の原因となります。
- 雷が鳴り出したら使用を中止する
落雷の恐れがあります。
- サービスマン以外の人は、絶対に分解したり、改造したり、修理しない
火災や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。また、本機を分解したり改造することは電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。
- 煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない
発火の恐れがあります。すぐに使用を中止して、販売店に修理をご依頼ください。
- 運転中は絶対に操作しない
わき見運転は重大事故の原因となります。車を安全なところに止めてからご使用ください。
- 旅客用飛行機の中では使用しない
飛行機の計器に異常を与える可能性があります。絶対にお止めください。
- 医用電気機器の近くでは使用しない
植え込み型心臓ペースメーカーや、その他の医用電気機器に電波による影響を与える恐れがあります。医用電気機器の近くでは電源を切り、絶対に使用しないでください。

注意 注意を無視した取り扱いをすると、傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

- 直射日光の当たる場所、湿度の高い場所、ホコリや油煙の多い場所に置かない
火災や故障の原因となります。
- 指定以外の電池は使用しない、また、古い電池を混ぜて使用しない
破裂や液漏れにより、火災やケガ、周囲を汚損する原因となります。

オプション品(別売)の取り扱いについて

詳しくは、各オプション品(別売)の取扱説明書をご覧ください。

バッテリーパック : J-BPC400 について

バッテリーパックは以下の事項をお守りいただけない場合、ケガや電池の漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。

- 充電温度範囲は、0℃～40℃です。この温度範囲以外では充電できません。
- 弊社指定の充電器以外では充電できません。
- 本機以外の機器に取り付けしないでください。
- 火の中に投入したり、加熱したり、分解や改造をしないでください。
- バッテリーパックの端子にハンダ付けしたり、針金などの金属類を接続しないでください。
- ネックレスやヘアピンなどの金属類や導電性のあるものと一緒を持ち運んだり、保管しないでください。
- 赤ちゃんや小さなお子さまの手の届かない場所で使用、保管してください。
- バッテリーパックを水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。
- バッテリーパックから漏れ出した液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- バッテリーパックから漏れ出した液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

充電器 : J-A5001 について

- 充電器に水を入れたり、ぬらさないでください。水にぬれたときは使用しないでください。
- ACアダプターは、AC100V以外の電圧で使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- 故障の原因となるため、パソコンのUSB端子と接続しないでください。
- ぬれた手でプラグや機器に触れないでください。感電の原因となります。
- 電源コードや接続ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱しないでください。
- プラグの端子にホコリが付着したまま使用しないでください。ショートや過熱により火災や感電の原因となります。
- 充電器の充電端子接点部に金属類を差し込まないでください。
- 赤ちゃんや小さなお子さまの手の届かない場所で使用、保管してください。
- 電源コードなどの接続ケーブルが傷ついたり、差し込みがゆるいときは使用しないでください。
- 万一、煙が出ている、変な臭いや音があるなどの異常状態のまま使用しないでください。すぐに充電器から電源コードを抜き、煙が出なくなることを確認してからお買い上げの販売店または、最寄の弊社営業所・サービス部にご連絡ください。

⚠ 注意

- ❗ 電池を入れるときは、極性に注意し、指示どおりに入れる
間違えて入れると、破裂や液漏れにより、火災やケガ、周囲を汚損する原因となります。
- ❗ 電池端子や充電端子に金属片や針金など導通性異物が触れないようにする
ショートによる火災や故障の原因となります。
- 🚫 使用済みの電池を火中に投げ入れない
爆発して火災や火傷の原因となります。
- ❗ 長期間で使用にならないときは、本体から電池を抜く
液漏れにより、周囲を汚損する原因となります。
- ⚠ イヤホンで使用するときは、音量に注意する
突然の音で耳を痛める恐れがあります。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 本体裏面の技術基準適合証明ラベルをはがして使用することは、電波法で禁止されています。
- 本機は、レジャー用途、業務用途で使用できますが、過酷な使用条件に耐える特別な構造を施したものではありません。
- アンテナは無理に折り曲げないでください。
- 本機は防滴仕様(JIS防滴Ⅱ形)です。水の中などには入れないでください。
- 本機が汚れたときは、柔らかい布でふいてください。ポリエステルなどの静電気の起こりやすいものや、ベンジンやシンナー、化学ぞうきん、洗剤は使用しないでください。

使用上の制限

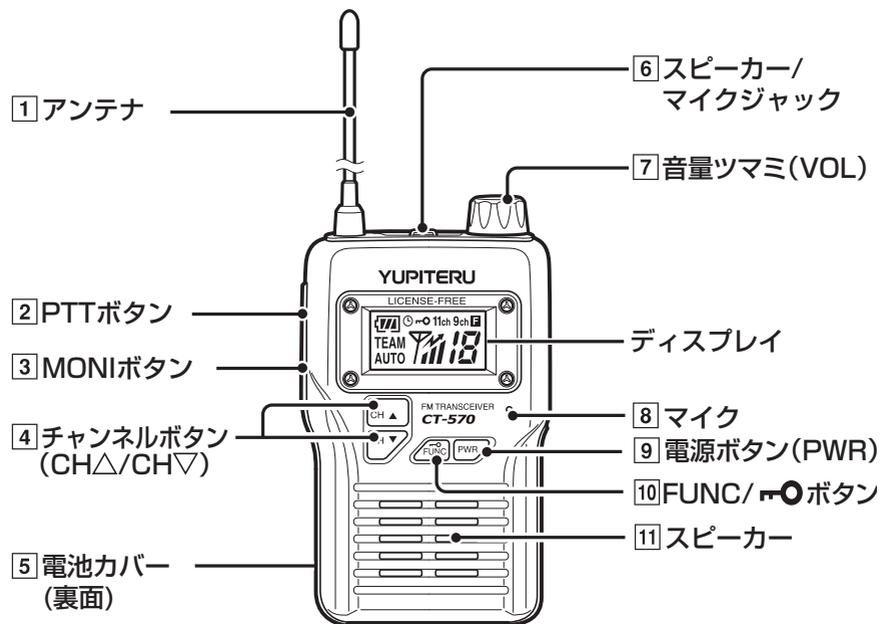
- 他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を与えたり、受けたりすることがあります。

交信について

- 特定小電力トランシーバーでは、公共性を保つため、一回の送信時間が制限されています。
- 連続送信時間は、「電波法」に定められている3分以内です。連続送信時間を超えると、自動的に送信が停止し、2秒以上経過しないと再送信できません。
- 連続送信できる残り時間が約10秒以下になったときは“ピピッ”と鳴ります。
- 混信(二重送信)を防ぐため、一定以上の強さの電波を受信しているチャンネルでは、送信できません。
- 送信できない場合は、“ピピピ”と鳴ります。

各部の名称とはたらき

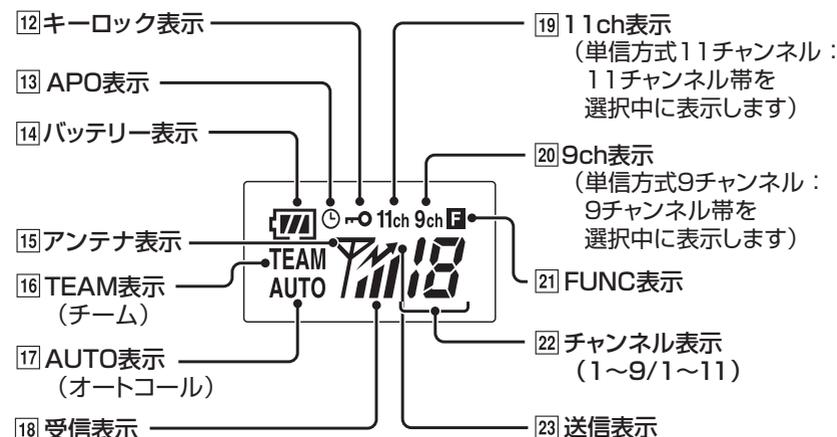
本体



- 1 アンテナ**
アンテナを折り曲げないでください。
- 2 PTT ボタン**
押し続けている間、送信します。
- 3 MONI ボタン(モニター)**
相手からの電波が弱く、音が途切れるときに押します。元に戻すときは、もう一度押します。
- 4 チャンネルボタン (CH△/CH▽)**
チャンネルの切り換えができます。2秒間以上押し続けるとスキャン機能になります。
- 5 電池カバー**
(裏面)

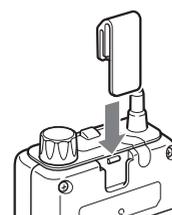
- 6 スピーカー/マイクジャック**
別売のイヤホンマイクなどをご利用になるときは、このジャックに接続します。接続すると、PTT ボタンの操作は、接続したオプション側に変わります。
本体 PTT スイッチでは操作できません。
スピーカージャック：3.5φモノラル
マイクジャック：2.5φステレオ
- 7 音量ツマミ(VOL)**
音量を調節できます。
- 8 マイク**
- 9 電源ボタン(PWR)**
約1秒間押しすと電源が入ります。電源を切るときは、もう一度約1秒間押しします。
- 10 FUNC/ ボタン**
(ファンクション/ロック)
いろいろな機能の設定や解除ができます。2秒間以上押し続けるとキーロック機能がはたらきます。
- 11 スピーカー**

ディスプレイ…チャンネルや機能の状態を表示します。

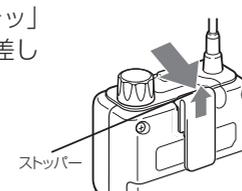


- 12 キーロック表示**
キーロックに設定すると点灯します。
- 13 APO 表示(オートパワーオフ)**
APO に設定すると点灯します。
- 14 バッテリー表示**
電池の状態を表示します。
- 15 アンテナ表示**
ロングセーブモードに設定すると点滅します。(通常は点灯しています)
- 16 TEAM 表示(チーム)**
チームモードに設定すると点灯します。
- 17 AUTO 表示(オートコール)**
オートコールモードに設定すると点灯します。
- 18 受信表示**
受信強度を表示します。
- 19 11ch 表示**
(単信方式11チャンネル：11チャンネル帯を選択中に表示します)
- 20 9ch 表示**
(単信方式9チャンネル：9チャンネル帯を選択中に表示します)
- 21 FUNC 表示**
FUNC/ ボタンを押すと3秒間点灯します。
- 22 チャンネル表示(1~9、1~11)**
選んでいるチャンネルを表示します。CH△▽ボタンを押すごとに1~9、1~11と表示が変わり、チャンネルに対応して**19**11chまたは**20**9chの表示になります。また、チームモード時の呼出音(A~c)やオートコールモード(A)を表示します。
- 23 送信表示**
送信中は点灯します。

ベルトクリップの取り付けかた



図のように「カチッ」と音がするまで差し込みます。



取り外すときは、ストッパーを起こしながら上へスライドさせます。

電源について

乾電池で使う

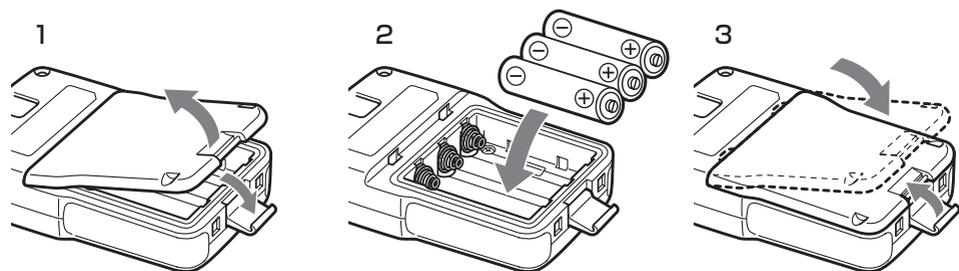
市販の単3形乾電池をお買い求めください。

- 1 止め具をはずし、電池カバーを開ける
- 2 ⊕と⊖を間違えないように電池を入れる
- 3 電池カバーをもとの位置に戻し、止め具で固定する

・消耗した電池を使用していると、受信時に異音が生じることがあります。

注意

- ・指定以外の電池を使用したり、古い電池を混ぜて使用しないでください。
- ・長期間ご使用にならないときは電池を抜いてください。



電池の交換時期

ローバッテリー表示()が点滅したら、3本とも新しい電池に交換してください。

電池寿命の目安(アルカリ電池使用時)

- ・一般使用時…約6.5時間(送信30秒間、受信30秒間、待ち受け4分間を繰り返したとき)
- ・待ち受け時…約100時間(ロングセーブモード設定時は約140時間)

※電池寿命は使用する条件によって異なります。とくに寒冷地では、電池寿命が短くなります。



オプション品(別売)を使う

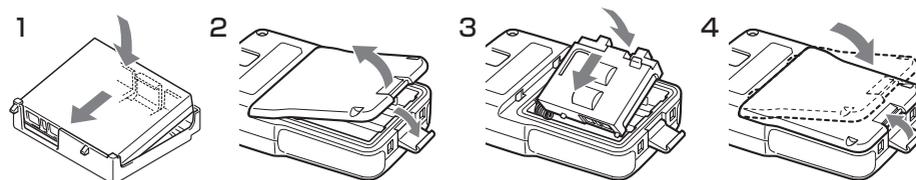
別売のバッテリーパック：J-BPC400 で使う

オプションのバッテリーパック：J-BPC400をお買い求めください。

- 1 バッテリーパックに付属のリチウムイオン電池を電池ケースに装着する
- 2 止め具をはずし、電池カバーを開ける
- 3 図の矢印方向にバッテリーパックを取り付ける
- 4 電池カバーをもとの位置に戻し、止め具で固定する

注意

- ・指定以外のバッテリーパックを使用しないでください。
- ・長期間ご使用にならないときはバッテリーパックを抜いてください。



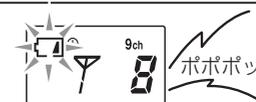
バッテリーパックの充電時期

- ・ローバッテリー表示()が点滅したら、バッテリーパックを充電してください。
- ・充電には、オプションの充電器：J-A5001が必要です。

使用可能時間の目安(バッテリーパック使用時)

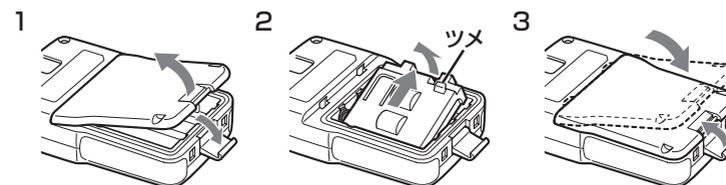
- ・一般使用時…約24時間(送信30秒間、受信30秒間、待ち受け4分間を繰り返したとき)
- ・待ち受け時…約35時間(ロングセーブモード設定時は約49時間)

※充電しても使用可能時間が大幅に短くなった場合は、新しいバッテリーパックをご購入ください。



別売のバッテリーパック：J-BPC400 を取り外す

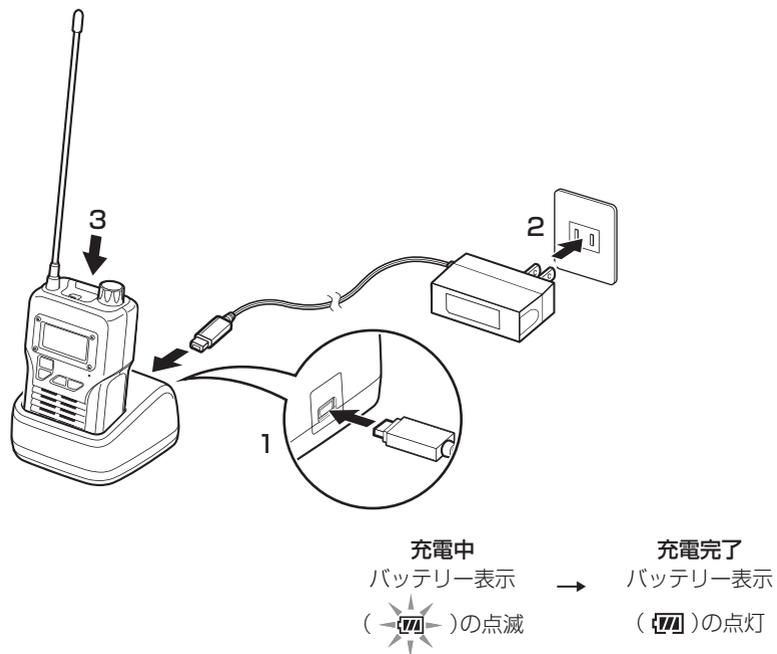
- 1 止め具をはずし、電池カバーを開ける
- 2 バッテリーパックのツメを持ち上げてバッテリーパックを取り外す
- 3 電池カバーをもとの位置に戻し、止め具で固定する



別売の充電器：J-A5001 で充電する

オプションのバッテリーパック：J-BPC400 が必要です。
 バッテリーパックを本機に装着した状態で充電します。
 安全のため充電温度範囲は、0℃～40℃です。この温度範囲以外では充電できません。
 日のあたらない風通しの良い涼しい場所で充電してください。

- 1 ACアダプターのミニプラグを充電器に接続する
※付属の AC アダプター以外は使用しないでください。
- 2 ACアダプターのプラグを家庭用電源コンセント(AC100V)に差し込む
- 3 バッテリーパックを取り付けた本機を充電器に差し込む
・約4時間で充電完了です。

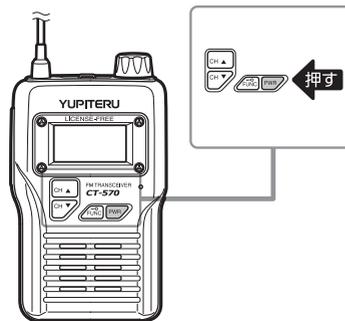


⚠ 注意

- ・本機やバッテリーパックがぬれたり汚れた状態で充電すると、故障の原因になります。乾いた布でよくふき取ってから充電器に差し込んでください。
- ・充電器の端子は、ゴミなどが付着しないように綿棒や乾いた柔らかい布で時々拭いてください。
- ・満充電でも使用時間が短くなったときは、バッテリーパックの交換時期です。
- ・バッテリーパックのみで充電することはできません。
- ・本機専用のバッテリーパック以外は充電しないでください。
- ・乾電池を入れた状態で充電器に差さないで下さい。
- ・本機専用の充電器以外では充電しないでください。

1 電源を入れる

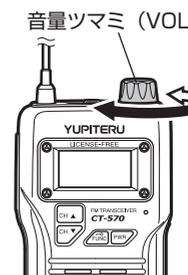
電源 (PWR) ボタンを押し続ける (約 1 秒間) と電源が入ります。



電源を切るときは、もう一度、約 1 秒間電源 (PWR) ボタンを押し続けてください。

2 音量を調節する

音量ツマミ (VOL) を右に回すと音量が大きくなります。中間の位置にしてください。

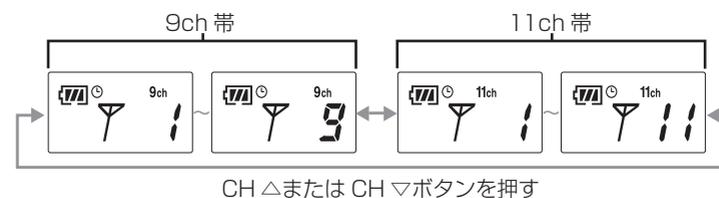


受信音が聞こえない場合には、MONI ボタンを押し「ザー」という音が出るようにしてから音量を調節してください。音量の調節が終わったら、もう一度 MONI ボタンを押して元に戻してください。

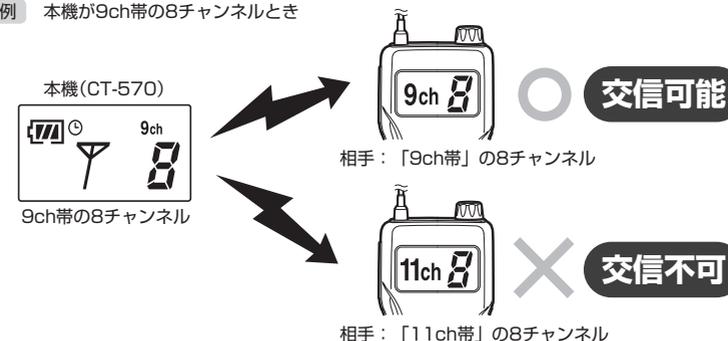
3 チャンネルを選ぶ(交信する相手と同じチャンネルにする)

本機は、9ch の周波数帯 (1 ~ 9ch) と 11ch の周波数帯 (1 ~ 11ch) の両方を備えています。

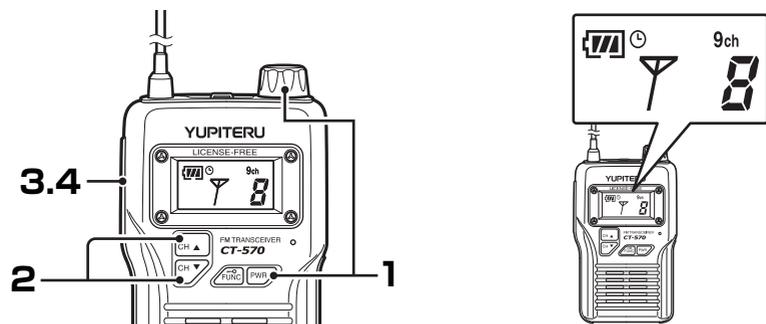
交信する際は、必ず相手と同じ ch 帯 (9ch 帯 / 11ch 帯) のチャンネル番号 (1 ~ 9ch / 1 ~ 11ch) を選択してください。



例 本機が9ch帯の8チャンネルとき

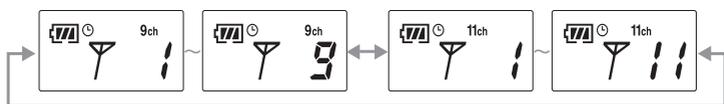


あらかじめ交信する相手と同じチャンネル(周波数)に設定し、送信と受信を交互に行います。チャンネルが一致しないと交信できません。



交信の準備をする

- 1 電源ボタンを約 1 秒間押し電源を入れ、音量ツマミを中間の位置にする
- 2 CH ▲ または CH ▼ ボタンを押して、交信する相手と同じチャンネル(9ch 帯の 1 ~ 9、または 11ch 帯の 1 ~ 11)に合わせる
・ CH ▲ または CH ▼ ボタンを押すごとにチャンネルが切り替わりディスプレイに表示されます。



・ CH ▲ または CH ▼ ボタンを 2 秒間以上押し続けると、スキャン機能がはたらきます。

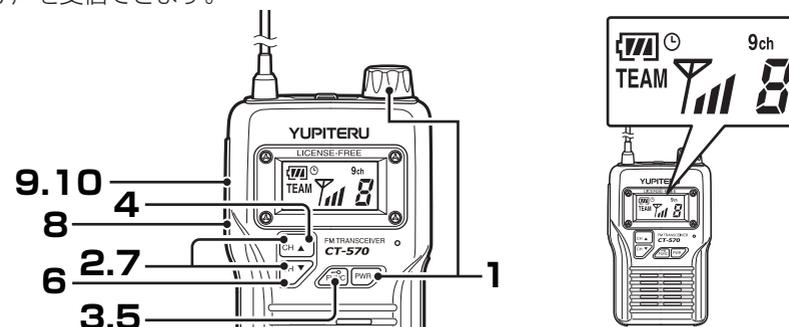
送信するには

- 3 PTT ボタンを押しながら、マイクに向かって話す
・ PTT ボタンを押している間は送信状態となり、送信表示(📡)が点灯します。

受信するには

- 4 PTT ボタンから指を放して待つ
・ 相手から送信があると、受信表示(📶)が点灯し音が聞こえます。音量を調節してください。
・ 相手の声が途切れるときは、MONI ボタンを押してください。聞き取りやすくなる場合があります。
元に戻すときは、もう一度 MONI ボタンを押します。

本機同士のチームモードを使った交信では、同じチャンネルで同じ呼出音にしている相手だけが声を受信できます。



交信の準備をする(交信する全員が設定してください)

- 1 電源ボタンを約 1 秒間押し電源を入れ、音量ツマミを中間の位置にする
- 2 CH ▲ または CH ▼ ボタンを押して、交信する相手と同じチャンネル(9ch 帯の 1 ~ 9、または 11ch 帯の 1 ~ 11)に合わせる
※キーロック機能(16 ページ)を使用している場合は、解除する必要があります。
- 3 FUNC/📡 ボタンを押す
・ 📡 が点灯します。
※約 3 秒以内に手順 4 の操作を行わないと 📡 が消えます。
- 4 📡 点灯中に、CH ▲ ボタンを押す
・ TEAM が表示され、チームモードになります。
・ 手順 3、4 を繰り返すと、交信モードが切り換わります。

ディスプレイ表示	TEAM	AUTO	消灯
交信モード	→ チームモード →	オートコールモード	解除(通常の交信)

- 5 FUNC/📡 ボタンを押す
・ 📡 が点灯します。
※約 3 秒以内に手順 6 の操作を行わないと 📡 が消えます。
- 6 📡 点灯中に CH ▼ ボタンを押す
- 7 CH ▲ または CH ▼ ボタンを押して交信する相手と同じ呼出音(A、b、c の 3 種類)を合わせる
・ 呼出音
A……フルルルル
b……A に比べて高い音
c……A に比べて低い音
※弊社トランシーバー CT-560 と交信するときは「A」に合わせてください。
- 8 MONI ボタンを押して、呼出音を確認します。
※ CH ▲ ボタンまたは CH ▼ ボタンを押してから約 5 秒以内に操作を行ってください。



交信のしかた

送信するには

9 PTT ボタンを押しながら、マイクに向かって話す

- ・最初に送信するときは、呼出音が約 1.5 秒間鳴ります。呼出音が鳴り終わったら、話し始めてください。

※呼出音が鳴っている間は交信できません。
※約 8 秒間以上交信がなかった場合、最初に交信するときに、呼出音が鳴ります。

受信するには

10 PTT ボタンから指を放して待つ

- ・最初に相手から送信があると、呼出音のあとに声が聞こえます。音量を調節してください。

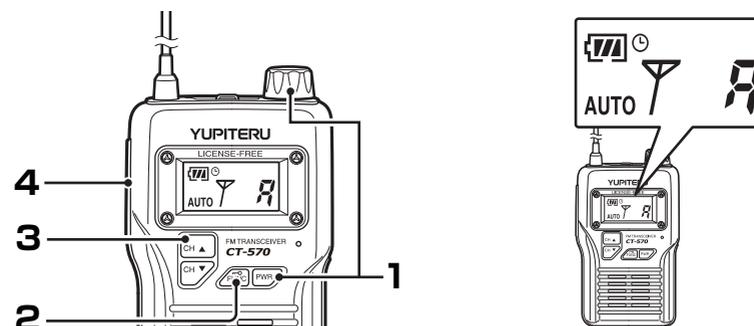
※交信内容は、同じチャンネルで同じ呼出音を使用している他のトランシーバーでも受信できます。

チームモードの交信終了後には

※交信終了後約 8 秒間は、通常と同じような交信となるため、他の同じチャンネルの音が聞こえることがあります。その交信が終わった後、聞こえなくなります。

オートコールモードを使った交信

本機同士の交信では、オートコールモードにすると、自動的に使用できるチャンネル（空チャンネル）を選択します。



交信の準備をする(交信する全員が設定してください)

1 電源ボタンを約 1 秒間押し電源を入れ、音量ツマミを中間の位置にする

2 FUNC/ ボタンを押す

- ・  が点灯します。
※約 3 秒以内に手順 3 の操作を行わないと  が消えます。
※キーロック機能(16 ページ)を使用している場合は、解除する必要があります。



3 点灯中に、CH ボタンを押す

- ・手順 2、3 を繰り返して、交信モードをオートコールモードに切り換えます。

ディスプレイ表示	TEAM	AUTO	消灯
交信モード	→ チームモード	→ オートコールモード	→ 解除 (通常の交信)

- ・オートコールモードの待ち受け状態になります。
- ・チャンネル表示部に  が点灯します。



交信するには

4 PTT ボタンを押す

- ・空チャンネルを探し出した後、相手に呼出音を約 5 秒間送信(呼出音が聞こえます)し、選択したチャンネルで待ち受け(交信できる)状態となります。
※空チャンネルを探し出したあと、オートコールモードは自動的に解除されます。

- ・交信は、通常と同じです。PTT ボタンを押しながらマイクに向かって話します。

※呼出音が鳴っている間は交信できません。
※空チャンネルがないときは、“ビビビ”と鳴ります。オートコールモードの待ち受け状態のままとなります。

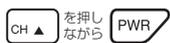
※オートコールモードを使った交信の場合、通常の交信に比べて待ち受け時の消費電流が大きくなります。

PTT ホールド機能について

PTT ボタンを離していても送信し続けることができます。
送信中に再度、PTT ボタンを押すことにより、送信が停止します。

※送信は、約 3 分間で自動停止します。
※オプションのスピーカーマイク (J-PM1 10) を使用する場合は、PTT ホールド機能ははたらきません。

- 電源を切ってから、CH△ボタンを押しながら電源を入れる
・“ピピッ”と鳴り、電源が入ります。



■解除するには

- 電源を一度切ってから、CH△ボタンを押しながら電源を入れる

ロングセーブモードについて

本機は、何も受信されない状態が 2 秒 (チームモードのときは条件により変化します) 以上続くと自動的にバッテリーセーブモードがはたらき、電池の消耗を防ぎます。
また、待ち受け中の電池の消耗をさらに抑えるロングセーブモードを設定することができます。(乾電池使用時: 通常の 100 時間を 140 時間に延長)

- FUNC/ ボタンを押す
・ が点灯します。
- が点灯している間に、MONI ボタンを押す
・“ピッ”と鳴り、アンテナ表示 () が点滅し、ロングセーブモードになります。



■解除するには

- もう一度 FUNC/ ボタンを押して が点灯している間に、MONI ボタンを押す

※受信のとき、相手からの最初の声 (約 1 秒間) が聞こえないことがあります。
※チームモード、オートコールモード中は設定できません。
※電源を切っても解除されません。ただし、チームモードやオートコールモードにした場合は解除されます。

送信禁止機能について

受信のみが可能になり、送信することはできなくなります。
送信が禁止の場合、PTT ボタンを押すと「-」が表示されます。

- 電源を切ってから、MONI ボタンと CH▽ボタンを押しながら電源を入れる
・“ピピッ”と鳴り、電源が入ります。



■解除するには

- 電源を一度切ってから、MONI ボタンと CH▽ボタンを押しながら電源を入れる

キーロック機能について

誤ってボタンを押して、チャンネルなどが切り換わることを防止します。

- FUNC/ ボタンを 2 秒間以上押し続ける
・“ピッ”と鳴り、キーロック表示 () が点灯し、キーロック機能がはたらきます。



■解除するには

- もう一度 FUNC/ ボタンを 2 秒間以上押し続ける

※キーロック ON 中に操作できるボタンは、
・PTT ボタン(送信)
・MONI ボタン(モニター)
・PWR ボタン(電源)
※キーロック ON 中は、機能設定の変更はできません。
※電源を切っても解除されません。

確認音について

ボタンを押したときに鳴る確認音 (ピッやピボ) を、鳴らないようにすることができます。

- FUNC/ ボタンを押しながら、電源を入れる
・確認音が鳴らなくなります。



※鳴るようにするときは、電源を切り、もう一度 FUNC/ ボタンを押しながら、電源を入れます。
※チームモード、オートコールモード中の呼出音や送信終了音は、設定に関係なく鳴ります。

■確認音の種類

ピッ	・各ボタンを押したとき ・各設定を変更したとき
ピピッ	・11ch 帯の 1 を選んだとき ・各設定を変更したとき
ピボ	・9ch 帯の 1 を選んだとき
ピピピ	・同じチャンネルの強い電波を受信中に PTT ボタンを押した場合など、送信できないとき
ポポポ	・電池の交換が必要なとき

スキャン機能について

CH△または CH▽ボタンを 2 秒間以上押し続けるとスキャンが始まり、自動的に交信中のチャンネルを探します。電波を受信するとスキャンが停止し (チャンネル表示は点滅)、その電波が途切れたときは再びスキャンが始まります。
スキャンを解除するには PTT ボタンを押してください。

- ※もう一度 CH△または CH▽ボタンを 2 秒間以上押し続けてもスキャンを解除できません。
- ※オートコールモード中はスキャン機能が設定できません。
- ※モニター機能が設定されているときはスキャンの停止状態(受信中のチャンネル表示は点滅)となります。
- ※スキャン中に、至近距離で交信中の電波を受信した場合には、送信側チャンネルの前後 (隣り) のチャンネルでスキャン停止することがあります。



呼出音について

通常の交信でも、呼出音を鳴らして相手に知らせることができます。

- FUNC/ ボタンを押す
・ が点灯します。
- が点灯している間に、PTT ボタンを押す
・呼出音が鳴ります。
・交信は、呼出音が鳴り終わってから、PTT ボタンを押して話し始めてください。



※呼出音は、送信側と受信側の両方で鳴ります。

ディスプレイの照明について(自動点灯)

PTT ボタン以外や電源ボタンを押すたびに、ディスプレイの照明が点灯します。(約 3 秒間)

■解除するには

- 電源を切ってから、MONI ボタンを押しながら電源を入れる
・点灯させるときは、電源を切り、もう一度 MONI ボタンを押しながら、電源を入れます。



APO(オートパワーオフ)機能について

ボタンの操作や受信が1時間以上ない場合は、電源が自動的に切れます。電源が切れる約30秒前は「ピピピ」と3回鳴り、切れるまでの間(約30秒間)、APO表示(ⓐ)が点滅します。

■解除するには

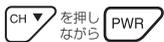
1. 電源を切ってから、PTTボタンを押しながら電源を入れる
 - ・「ピピッ」と鳴り、APO表示(ⓐ)が消灯します。
- ※APO機能を設定するときは、電源を切り、もう一度PTTボタンを押しながら電源を入れます。



送信終了音について

相手に送信が終わったことを知らせる「ピー」という送信終了音を鳴らすことができます。(お買い上げの際は、鳴らないように設定されています。)

1. 電源を切ってから、CH▽ボタンを押しながら電源を入れる
 - ・「ピピッ」と鳴り、送信終了音が鳴るようになります。



※鳴らないようにするときは、電源を切り、もう一度CH▽ボタンを押しながら、電源を入れます。
※送信終了音は、送信側と受信側の両方で鳴ります。

交信距離について

電波の届く距離は、周囲の状況により大きく異なります。

- ・海上やスキー場など 障害物のないところ……約2km～3km
- ・住宅地などの郊外……約1km～2.5km
- ・高速道路上の車と車の交信……約500m～800m
- ・ビルなどの建物が多い市街地……約100m～300m

※交信距離は一般的な電波環境での目安であり、通信距離をお約束するものではありません。

リセット機能について

CH△とCH▽ボタンを同時に押しながら電源を入ると、初期設定に戻ります。

■初期設定

機能	設定
チャンネル	9ch帯の1
PTT ホールド	OFF
送信禁止	OFF
チームモード	OFF
オートコールモード	OFF
APO (オートパワーオフ)	ON
ロングセーブモード	OFF
モニター	OFF
キーロック	OFF
確認音	ON
ディスプレイ照明	ON
送信終了音	OFF
チームモード呼出音	A

■保証書

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りいただき、保証内容をよくお読みのと、大切に保管ください。

■保証期間

お買い上げの日から1年間です。

■修理を依頼される時

「故障かな?と思ったら」の点検をしていただいても、なお異常があるときは

●保証期間中のとき

恐れ入りますが、お買い上げの販売店まで保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定にしたがって修理いたします。

●保証期間が過ぎていたとき

お買い上げの販売店にまずご相談ください。お客様のご要望により有料修理いたします。なお、故障状況は、なるべく詳しくご連絡ください。

※修理期間中の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

アフターサービス等についてご不明の点は

ユピテルご相談窓口一覧

お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

取付、取扱方法に関するお問い合わせ

受付時間 10:00～18:00 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター **TEL. (0564)45-5599**

故障相談や修理のご依頼、販売店の紹介に関するお問い合わせ

受付時間 9:00～17:30 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

地区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部 TEL.(011)618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北8条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部 TEL.(022)284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡	東京営業所・サービス部 TEL.(03)3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・長野・福井	名古屋営業所・サービス部 TEL.(052)769-1601 〒465-0092 愛知県名古屋市中東区社台3-181
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部 TEL.(06)6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部 TEL.(082)230-1711 〒731-0135 広島県広島市安佐南区長束1丁目34-22-102
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部 TEL.(092)552-5351 〒815-0035 福岡県福岡市南区向野2-3-4-2F

- 上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

故障かな?と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう一度次のことをご確認ください。

症状	確認内容
電源が入らない	・乾電池または、バッテリーパック(オプション品)が消耗していませんか?(8、9ページ参照) ・乾電池または、バッテリーパック(オプション品)が正しく入っていますか?(8、9ページ参照)
CH △ボタンがはたらかない 相手と交信できない	・キーロック機能がはたらいていませんか?(16ページ参照) ・相手とチャンネルが違っていませんか?(11ページ参照) ・相手と離れすぎていませんか?(18ページ参照)
送信できない	・連続送信時間終了後2秒以上経過していますか?(4ページ参照) ・電波を受信していませんか?(4ページ参照) ・送信禁止機能がはたらいていませんか?(16ページ参照)
受信時に異音がる	・乾電池または、バッテリーパック(オプション品)が消耗していませんか?(8、9ページ参照)
確認音が出ない	・確認音を消していませんか?(17ページ参照)
チームモードを使った交信ができない	・全員がチームモードに設定されていますか?(13ページ参照) ・相手とチームモードの呼出音が違っていませんか?(13ページ参照)
オートコールモードで呼び出しができない 「ザー」という音が消えない	・全員がオートコールモードに設定されていますか?(15ページ参照) ・MONIボタンが1度押したままになっていませんか?(6ページ参照) ・他の無線機などの影響を受けていませんか?(4ページ参照)

仕様

- 送信周波数：422.2000～422.3000MHz
(12.5kHzステップで9チャンネル)
422.0500～422.1750MHz
(12.5kHzステップで11チャンネル)
- 電波型式：F3E
- 連続送信時間：3分以内
- 送信出力：10mW
- 受信感度：-9dB μV以下(12dB SINAD)
- 低周波出力：90mW以上(4.5V、8Ω、THD5%時)
- 定格電圧：DC4.5V(単3形乾電池3本)、DC3.7V(リチウムイオンバッテリーパック)
- 消費電流
待ち受け時：通常…約22mA ロングモード…約18mA
送信時：約51mA
受信時：約88mA(90mW出力時)
- 動作温度範囲：-10℃～+50℃
- 防滴の種別：JIS C0920 防滴Ⅱ形
- 寸法：63(W)×102(H)×29.5(D)mm(突起部含まず)
- 重量：約202g(乾電池、ベルトクリップ含む)
- 付属品：ベルトクリップ(1)、取扱説明書/保証書(1)

※仕様や外観などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

オプション品(別売)について

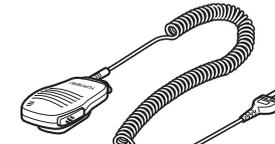
■イヤホンマイク(J-HD110)

標準価格 9,450円(税込)
PTTスイッチ付きのイヤホンマイクです。



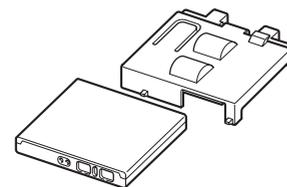
■スピーカーマイク(J-PM110)

標準価格 3,990円(税込)
PTTスイッチ付きのスピーカーマイクです。



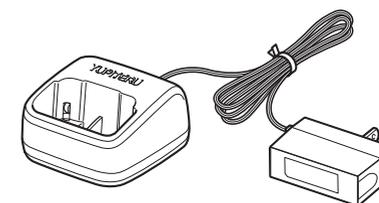
■バッテリーパック(J-BPC400)

標準価格 4,200円(税込)



■充電器(J-A5001)

標準価格 6,300円(税込)



※オプション品については、予告なく変更したり、販売を終了する場合があります。あらかじめご了承ください。

オプションのご注文は、お買い上げの販売店にお申しつけください。なお、ご不明な点は、最寄りの弊社営業所・サービス部(19ページ参照)にお問い合わせください。

⚠ 注意

イヤホンを使うときは、音量に十分ご注意ください。突然の大きな音で耳を痛める恐れがあります。

その他

21

20

その他